

発行所 福島市柳町4-29
郵便番号 960-8648
福島民友新聞社
電話代表 (024) 523-1191
編集局 (024) 523-1390
販売局 (024) 523-1472
振替口座 02180-8-5070

©福島民友新聞社 2015

2015年(平成27年)

4月23日(木曜日)

旧暦3月5日 先勝 九紫

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

14面

HOMETOWN

ネット59

名園「可月亭」復活に汗

江戸期に「会津三庭園」とたたえられた、会津若松市材木町の日本庭園「可月亭」の整備が21、23日、東京都の造園ボランティアグループにより行われている。同グループはこれまでこれほど素晴らしい庭園が埋もれていたのが惜しい」と語り、名園復活に取り組んでいる。

東京の有志ら



可月亭の整備に取り組むメンバーと
星野さん(後列左から2人目)

可月亭は旧商家星野家の庭園。会津藩の御薬園を造った小堀遠州流の園匠が改修し、藩主も狩りの際に休憩したとされる。現在は周辺開発で規模が縮小したが、池や庭木などが当時のまま残る。近年は手入れが行き届かず、雑木が茂ったり池の水が抜けるなど荒廃していた。星野家生まれの福島大名菅教授の星野珙二さん(69)＝福島市＝が整備を決意し、知人を通して同グループに協力を要請。2013(平成25)年から竹垣の整備や庭木の枝切りなどを行ってきた。

今回は5度目の整備で、60、70代のメンバー7人が訪れ、主に池の周囲を囲う石積みの修繕に取り組んでいる。代表の河瀬直さん(71)は「庭園整備は終わ

がない。可月亭の整備が引き継がれるよう願う」と語った。星野さんは「可月亭を次代に伝え、まちづくりにつながるようにしたい」とした。

一般公開を計画

星野さんや市民有志は、同市城西地区の歴史的な地域資源を活用した地域活性化に向け「城西界隈まちづくり協議会」を2月に発足。これまで非公開だった可月亭を一般公開して市民の憩いの場にするのを計画している。観覧は事前予約が必要。問い合わせは星野さん(電話070・5620・2985)へ。